

シラバス

科目名	ビジネススキル		担当者名	和足 安男	
学科	研究科 (工業専門課程)		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	社会で必要とされる人材となる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としてのビジネススキルや一般教養を身に付け就職活動に向けて準備をする				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が規則を遵守し、自然に礼儀正しくふるまえるように導く。</li> <li>・学生一人一人を理解し、個性を伸ばす。</li> <li>・就職ガイダンス等を適宜行い、卒業後の進路をしっかりと考えるように促す。</li> </ul>				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	個人面接1	19	テクノス祭準備1	
	2	個人面接2	20	テクノス祭準備2	
	3	個人面接3	21	テクノス祭準備3	
	4	個人面接4	22	資格取得対策・指導1	
	5	就職活動の指導1	23	資格取得対策・指導2	
	6	就職活動の指導2	24	資格取得対策・指導3	
	7	就職活動の指導3	25	資格取得対策・指導4	
	8	就職活動の指導4	26	資格取得対策・指導5	
	9	就職活動の指導5	27	テクノス展準備1	
	10	就職活動の指導6	28	テクノス展準備2	
	11	就職活動の指導7	29	テクノス展準備3	
	12	就職活動の指導8	30	テクノス展準備4	
	13	就職活動の指導9	31	テクノス展準備5	
	14	就職活動の指導10	32	テクノス展準備6	
	15	SPI・適性検査1	33	社会人としての心得 1	
	16	SPI・適性検査2	34	社会人としての心得 2	
	17	SPI・適性検査3	35	社会人としての心得 3	
	18	SPI・適性検査4	36	社会人としての心得 4	
成績割合	実習		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて
	学習態度		50%		
	レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士				

シラバス

科目名	建築計画		担当者名	丸山 恭	
学科	研究科 (工業専門課程)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数6)
授業目的	建築計画の中の計画各論について人間工学的観点から建築物各部の計画上の留意点及びそれぞれの目的別に計画される建築物についての計画上の諸要素とその具体的検討事項について学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	二級建築士学科試験合格を目標とする。				
授業概要	建築に係わる上で一般常識として知っておきたい建物、歴史、コンセプト等について、また実務で役立つ建築製図の基本情報や計画全般にわたっての知識を習得する。二級建築士学科試験合格を目標として建築の基礎となることを踏まえて随時小テストを行い、習熟度を確認する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	計画一般	19		
	2	建築史	20		
	3	環境工学1	21		
	4	環境工学2	22		
	5	計画各論	23		
	6	都市計画	24		
	7	建築設備1	25		
	8	建築設備2	26		
	9	確認テスト1	27		
	10	確認テスト2	28		
	11	確認テスト3	29		
	12	確認テスト4	30		
	13	確認テスト5	31		
	14	確認テスト6	32		
	15	確認テスト7	33		
	16	確認テスト8	34		
	17	確認テスト9	35		
	18	確認テスト10	36		
成績割合	実習	100%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて	
	学習態度	%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	建築設計事務所主宰、保育園・認定こども園5施設 オフィスビル、集合住宅、専用住宅等 設計監理。専門学校建築講師歴23年、一級建築士。				

シラバス

科目名	建築構造		担当者名	外塚 浩幸	
学科	研究科 (工業専門課程)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	54時間(週講時数3)
授業目的	建築物の構成と力学的な構造物の種類を学び、構造物を力学的に解析し設計する「力」を養成することを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	二級建築士学科試験合格を目標とする。				
授業概要	建築物の構成及び構造物の種類・名称等については「一般構造」の科目で学ぶので、主として構造物の骨格(骨組)について力学的に学習する。「建築構造」系の授業と建築士試験との関連に注意し、二級建築士学科試験合格を目標として、応用知識の確認をおこなう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	各種構造1	19		
	2	各種構造2	20		
	3	各種構造3	21		
	4	各種構造4	22		
	5	各種材料1	23		
	6	各種材料2	24		
	7	各種材料3	25		
	8	各種材料4	26		
	9	確認テスト1	27		
	10	確認テスト2	28		
	11	確認テスト3	29		
	12	確認テスト4	30		
	13	確認テスト5	31		
	14	確認テスト6	32		
	15	確認テスト7	33		
	16	確認テスト8	34		
	17	確認テスト9	35		
	18	確認テスト10	36		
成績割合	実習	100%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて	
	学習態度	%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	建築系実務と高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士				

シラバス

科目名	建築構造力学		担当者名	外塚 浩幸	
学科	研究科 (工業専門課程)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	54時間(週講時数3)
授業目的	建築物の構成と力学的な構造物の種類を学び、構造物を力学的に解析し設計する「力」を養成することを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	二級建築士学科試験合格を目標とする。				
授業概要	建築物の構成及び構造物の種類・名称等については「一般構造」の科目で学ぶので、主として構造物の骨格(骨組)について力学的に学習する。「建築構造」系の授業と建築士試験との関連に注意し、二級建築士学科試験合格を目標として、応用知識の確認をおこなう。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	構造力学1	19		
	2	構造力学2	20		
	3	構造力学3	21		
	4	構造力学4	22		
	5	構造力学5	23		
	6	構造力学6	24		
	7	構造力学7	25		
	8	構造力学8	26		
	9	確認テスト1	27		
	10	確認テスト2	28		
	11	確認テスト3	29		
	12	確認テスト4	30		
	13	確認テスト5	31		
	14	確認テスト6	32		
	15	確認テスト7	33		
	16	確認テスト8	34		
	17	確認テスト9	35		
	18	確認テスト10	36		
成績割合	実習	100%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて	
	学習態度	%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>100% R<実働実践型学習> A<主体的参加型学習> G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	建築系実務と高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士				

シラバス

科目名	建築施工		担当者名	高井 英光	
学科	研究科 (工業専門課程)		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数6)
授業目的	建築物を完成させるために経る様々な工程を知り、高品質、高性能の建物を完成させるために必要な知識を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	二級建築士学科試験合格を目標とする。				
授業概要	適宜、他の科目との関連を考慮し、授業を進める。 また、JASSや各種基準の改定について注意し、正しい知識の習得を目指す。 履修上の注意として、各項目ごとに理解度を試す為小テストを行い、試験も同様の方式により行う。二級建築士学科試験合格を目標として建築の基礎となることを踏まえて随時小テストを行い、習熟度を確認する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	施工計画	19		
	2	工事監理	20		
	3	工事管理	21		
	4	各部工事	22		
	5	施工用語・機械器具	23		
	6	積算	24		
	7	測量	25		
	8	工事契約	26		
	9	仕様書・設計図書	27		
	10	確認テスト1	28		
	11	確認テスト2	29		
	12	確認テスト3	30		
	13	確認テスト4	31		
	14	確認テスト5	32		
	15	確認テスト6	33		
	16	確認テスト7	34		
	17	確認テスト8	35		
	18	確認テスト9	36		
成績割合	実習		100%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて
	学習態度		%		
	レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了				

シラバス

科目名	建築設計製図		担当者名	砂子政仁 丸山恭 外塚浩幸	
学科	研究科 (工業専門課程)		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	6単位 1 学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	127時間(週講時数7)
授業目的	内部空間と外部空間とを関連付けて理解し計画する能力 計画地とその周辺地域とを関連付けて理解し計画する能力の習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	二級建築士製図試験合格を目標として課題の製図に取り組む				
授業概要	的確な図面表現および図面読解の能力、寸法感覚、スケール感覚おこなわれる行為を想像し、それに見合った場・空間をイメージする能力 ゾーニング、動線、バランス、等の計画的な理解 平面計画、断面計画、立面計画の相互を関連づけて理解し計画する能力 内部空間と外部空間とを関連付けて理解し計画する能力 計画地とその周辺地域とを関連付けて理解し計画する能力の習得。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	練習課題による製図1	19		
	2	練習課題による製図2	20		
	3	練習課題による製図3	21		
	4	練習課題による製図4	22		
	5	練習課題による製図5	23		
	6	練習課題による製図6	24		
	7	練習課題による製図7	25		
	8	練習課題による製図8	26		
	9	練習課題による製図9	27		
	10	練習課題による製図10	28		
	11	練習課題による製図11	29		
	12	練習課題による製図12	30		
	13	練習課題による製図13	31		
	14	練習課題による製図14	32		
	15	練習課題による製図15	33		
	16	練習課題による製図16	34		
	17	練習課題による製図17	35		
	18	練習課題による製図18	36		
成績割合	実習	100%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて	
	学習態度	%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>100% R<実働実践型学習> A<主体的参加型学習> G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	一級建築士、介護福祉士として設計事務所を主宰する傍ら、専門学校や建築士予備校及び介護現場等で活動する 他2名				

シラバス

科目名	建築法規		担当者名	砂子 政仁	
学科	研究科 (工業専門課程)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数6)
授業目的	建築の基本となる建築基準法を学ぶことによって、正式な建築用語や法規を理解し、演習課題や実務に役立てることを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	二級建築士学科試験合格を目標とする。				
授業概要	法規は全ての基本となる為、基本事項をしっかり理解し、用語の意味や考え方を理解することで、演習等をスムーズに学習できるものである。履修上の注意として、各項目ごとに理解度を試す為小テストを行い、試験も同様の方式により行う。二級建築士学科試験合格を目標として建築の基礎となることを踏まえて随時小テストを行い、習熟度を確認する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	用語の定義	19		
	2	手続き 一般構造	20		
	3	耐火構造等 法22条地域内の建築物	21		
	4	耐火建築物又は準耐火建築物としなければならない特殊建築物	22		
	5	防火地域、準防火地域等	23		
	6	避難施設等	24		
	7	用途地域 防火区画	25		
	8	内装制限	26		
	9	避難施設等	27		
	10	雑則 その他関連法規	28		
	11	建築士法	29		
	12	確認テスト1	30		
	13	確認テスト2	31		
	14	確認テスト3	32		
	15	確認テスト4	33		
	16	確認テスト5	34		
	17	確認テスト6	35		
	18	確認テスト7	36		
成績割合	実習	100%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて	
	学習態度	%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体験型学習>>				
講師プロフィール	一級建築士、介護福祉士として設計事務所を主宰する傍ら、専門学校や建築士予備校及び介護現場等で活動する。				

シラバス

科目名	卒業制作		担当者名	和足 安男	
学科	研究科 (工業専門課程)		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	288時間(週講時数12)
授業目的	地球上の建築・都市空間は「人間の暮らし」の中から生まれる。制作の研究テーマは、「本当に必要なもの」とは何か?という検討から始まる				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国や文化の違い、気候・風土の違いからわかること、過去に遡ることで見えてくる未来の姿などを参考にしながら、新たな「建築・環境デザイン」を計画・提案し、模型およびプレゼンテーションボードの制作をおこなう。				
授業概要	建築計画、居住学、建築史、構造、設備、構法、材料、施工、法規、および図面表現(製図、CAD、プレゼンテーション)、他の授業で学んだ内容を総合し、複合的な建築の設計をおこなう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)1	19	プレゼンテーションボード・模型制作1	
	2	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)2	20	プレゼンテーションボード・模型制作2	
	3	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)3	21	プレゼンテーションボード・模型制作3	
	4	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)4	22	プレゼンテーションボード・模型制作4	
	5	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)5	23	プレゼンテーションボード・模型制作5	
	6	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)6	24	プレゼンテーションボード・模型制作6	
	7	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)7	25	プレゼンテーションボード・模型制作7	
	8	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)8	26	プレゼンテーションボード・模型制作8	
	9	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)9	27	プレゼンテーションボード・模型制作9	
	10	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)10	28	プレゼンテーションボード・模型制作10	
	11	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)11	29	プレゼンテーションボード・模型制作11	
	12	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)12	30	プレゼンテーションボード・模型制作12	
	13	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)13	31	プレゼンテーションボード・模型制作13	
	14	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)14	32	プレゼンテーションボード・模型制作14	
	15	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)15	33	プレゼンテーションボード・模型制作15	
	16	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)16	34	プレゼンテーションボード・模型制作16	
	17	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)17	35	プレゼンテーションボード・模型制作17	
	18	研究、調査、計画 (問題の定義、情報収集)18	36	発表	
成績割合	実習		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて
	学習態度		50%		
	レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士				

シラバス

科目名	クロスアート I		担当者名	谷本昌彦	
学科	研究科 (芸術専門課程)		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	ジャンルにとらわれないアートを創造する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	アート表現の追及をするためのトレーニング、発想力のトレーニング、発想を練り上げ形にするトレーニング				
授業概要	学習グループでの討議を中心に、その都度内容を作品にまとめていく。個人での考えから個人の作品づくりも並行して行う				
授業計画表	前期	授業内容	後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	安定感と美	
	2	オリエンテーション2	20	安定感と美	
	3	オリエンテーション3	21	緊張感と美	
	4	発想トレーニング 美しいものとは	22	緊張感と美	
	5	発想トレーニング 美しいと感じられる期間	23	緊張感と美	
	6	発想トレーニング 美しい要素	24	古典とアバンギャルド	
	7	デジタルとアナログ	25	古典とアバンギャルド	
	8	デジタルとアナログ	26	古典とアバンギャルド	
	9	デジタルとアナログ	27	古典とアバンギャルド	
	10	デジタルとアナログ	28	合同制作	
	11	デジタルとアナログ	29	合同制作	
	12	デジタルとアナログ	30	合同制作	
	13	立体物の構成	31	合同制作	
	14	立体物の構成	32	合同制作	
	15	立体物の構成	33	プレゼン・合評	
	16	立体物の構成	34	確認テスト・まとめ1	
	17	立体物の構成	35	確認テスト・まとめ2	
	18	合評・後期の説明	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	作品	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて	
	学習態度	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	大阪芸術大学美術学科卒業、日本画を専攻し、染織作家、イラストレーター、ファッションデザイナー (株)関水金属(鉄道模型メーカー)にて出版物、パッケージのデザイン、イベントの企画・施工・実施、を行う				

シラバス

科目名	CG実習応用 I		担当者名	清 勝仁	
学科	研究科 (芸術専門課程)		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択 <u>必修選択</u>	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	3DCGの概念を理解し、実制作の流れに沿って作品を制作する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各課題に応じて、自ら企画し、作品を制作、ポートフォリオの素材として活用できるように学習する。				
授業概要	3DCGのソフト(MAYA)を用いて、自らの企画・立案した世界観を再現できるようにモデリング、シェーディング、ライティング、アニメーション、セットアップを学ぶ。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	オリエンテーション1		19	課題3 アニメーション
	2	オリエンテーション2		20	課題3 アニメーション
	3	オリエンテーション3		21	課題3 アニメーション
	4	課題1 モデリング・セットアップ		22	課題3 アニメーション
	5	課題1 モデリング・セットアップ		23	課題3 アニメーション
	6	課題1 モデリング・セットアップ		24	課題3 アニメーション
	7	課題1 モデリング・セットアップ		25	課題提出3
	8	課題1 セットアップ・アニメーション		26	課題4 モデリング
	9	課題1 モデリング・アニメーション		27	課題4 モデリング
	10	課題1 アニメーション・レンダリング		28	課題4 モデリング
	11	課題1 レンダリング 提出		29	課題4 モデリング
	12	課題2 モデリング・レンダリング		30	課題4 モデリング
	13	課題2 モデリング・レンダリング		31	課題4 モデリング
	14	課題2 モデリング・レンダリング		32	課題4 モデリング
	15	課題2 モデリング・レンダリング		33	課題4 モデリング
	16	課題2 レンダリング		34	課題提出4
	17	課題2 レンダリング		35	確認テスト・まとめ1
18	課題2 レンダリング 提出		36	確認テスト・まとめ2	
成績割合	作品	65%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて
	学習態度	25%			
	レポート	10%		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	3DCGクリエイターとして30年以上映画・テレビ・展示映像等の映像制作に携わる。外部よりの映像などの依頼も学生に適切に現場で必要とされるものを完成させるために適切な指導を行っている				

シラバス

科目名	デザイン応用 I A		担当者名	谷本昌彦	
学科	研究科 (芸術専門課程)		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択 <u>必修選択</u>	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	商品開発や企画、イベント等でも必要になる知識、技術を身に付け、新たな表現を見つける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各種マテリアルの特性を理解し、生かしてモデル・試作品、素材を制作し 新しものを作り出す人材の育成				
授業概要	各自に与えられたテーマとマテリアルで表現・制作し、グループでの政策にも取り組む。 模型製作や手工芸分野のコンクールにも出品できるようにするなど社会で必要なレベルを知る。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	オリエンテーション1		19	立体物制作その1
	2	オリエンテーション2		20	立体物制作その1
	3	オリエンテーション3		21	立体物制作その1
	4	マテリアル研究その1 プラスティック		22	立体物制作その1
	5	マテリアル研究その2 プラスティック		23	立体物制作その2
	6	マテリアル研究その3 金属		24	立体物制作その2
	7	マテリアル研究その4 木材		25	立体物制作その2
	8	マテリアル研究その5 繊維		26	立体物制作その2
	9	マテリアル研究その6 土		27	立体物制作その2
	10	マテリアル研究その7 接着剤		28	グループ制作 立体 半立体
	11	テーマ別表現その1 泥		29	グループ制作 立体 半立体
	12	テーマ別表現その2 雪		30	グループ制作 立体 半立体
	13	テーマ別表現その3 鏡		31	グループ制作 立体 半立体
	14	テーマ別表現その4 水		32	グループ制作 立体 半立体
	15	テーマ別表現その5 草		33	グループ制作 立体 半立体
	16	テーマ別表現その6 樹木		34	確認テスト・まとめ1
	17	テーマ別表現その7 錆		35	確認テスト・まとめ2
	18	テーマ別表現その8 土		36	確認テスト・まとめ3
成績割合	作品	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて	
	学習態度	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	大阪芸術大学美術学科卒業、日本画を専攻し、染織作家、イラストレーター、ファッションデザイナー (株)関水金属(鉄道模型メーカー)にて出版物、パッケージのデザイン、イベントの企画・施工・実施、を行う				

シラバス

科目名	映像制作応用 I		担当者名	谷本昌彦	
学科	研究科 (芸術専門課程)		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択 <u>必修選択</u>	授業時間数	08時間(週講時数3)
授業目的	新しい映像表現の可能性を研究し制作する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	言葉で説明しなくても伝わる映像表現を制作できる。ネット上にUPできる動画制作を行う。				
授業概要	静止画→動画 動画の一部をスチールを繰り返し、より完成度を高めていく。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	オリエンテーション1		19	特殊効果 特殊撮影
	2	オリエンテーション2		20	特殊効果 特殊撮影
	3	オリエンテーション3		21	合成 編集
	4	映像表現とは 映画		22	合成 編集
	5	映像表現とは CM		23	合成 編集
	6	映像表現とは CG web		24	作品中間チェック
	7	映像表現とは ポスター、デザイン		25	最終作品制作
	8	映像表現とは ディスプレイ		26	最終作品制作
	9	アプリケーションの活用		27	最終作品制作
	10	アプリケーションの活用		28	最終作品制作
	11	アプリケーションの活用		29	最終作品制作
	12	アプリケーションの活用		30	最終作品制作
	13	コマ撮りムービー		31	最終作品制作
	14	コマ撮りムービー		32	合評 修正
	15	コマ撮りムービー		33	提出
	16	コマ撮りムービー		34	確認テスト・まとめ1
	17	コマ撮りムービー		35	確認テスト・まとめ2
	18	コマ撮りムービー		36	確認テスト・まとめ3
成績割合	作品	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて	
	学習態度	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	大阪芸術大学美術学科卒業、日本画を専攻し、染織作家、イラストレーター、ファッションデザイナー (株)関水金属(鉄道模型メーカー)にて出版物、パッケージのデザイン、イベントの企画・施工・実施、を行う				

シラバス

科目名	デザインワーク		担当者名	山本浩生		
学科	研究科 (芸術専門課程)		授業方法	実習		
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <b>通年</b> 必修・選択 <b>必修選択</b>	授業時間数	108時間(週講時数3)	
授業目的	デジタルに移行できるデザインをアナログで身に着け発想力を養う。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ものづくり(平面から立体)の基本を課題を制作しながら学ぶ(アプローチからフィニッシュまで)ことをテーマに、センスあるものを必ず期限内に仕上げることを目標としている。					
授業概要	画材を使いPCを使わないでイメージを形にする実習を連続して行う。必要な技術はその都度練習する。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1		19	(A)私のワッペン(B)キッズのためのトイレサイン	
	2	オリエンテーション2		20	(A)私のワッペン(B)キッズのためのトイレサイン	
	3	オリエンテーション3		21	合評	
	4	就活に向けて ポートフォリオなど		22	⑥(A)広告キャラクター(B)イメージキャラクター(C)ゲームキャラクター	
	5	①(A)ハイライト描法(B)手と写真/手と卵		23	⑥(A)広告キャラクター(B)イメージキャラクター(C)ゲームキャラクター	
	6	①(A)ハイライト描法(B)手と写真/手と卵		24	⑥(A)広告キャラクター(B)イメージキャラクター(C)ゲームキャラクター	
	7	①(A)ハイライト描法(B)手と写真/手と卵		25	⑦ポスター(A)動物・生き物(B)著名人・キャラクター(C)自由	
	8	②(A)4つの感情「嬉・怒・哀・驚」(B)4つの味覚「甘・酸・辛・苦」		26	⑦ポスター(A)動物・生き物(B)著名人・キャラクター(C)自由	
	9	②(A)4つの感情「嬉・怒・哀・驚」(B)5つの味覚「甘・酸・辛・苦」		27	⑦ポスター(A)動物・生き物(B)著名人・キャラクター(C)自由	
	10	②(A)4つの感情「嬉・怒・哀・驚」(B)6つの味覚「甘・酸・辛・苦」		28	⑧カード(A)トランプ(B)プリペイドカード	
	11	②(A)4つの感情「嬉・怒・哀・驚」(B)7つの味覚「甘・酸・辛・苦」		29	⑧カード(A)トランプ(B)プリペイドカード	
	12	③(A)連続する5つの画面(B)2コマの世界(うちわ)		30	⑧カード(A)トランプ(B)プリペイドカード	
	13	③(A)連続する5つの画面(B)3コマの世界(うちわ)		31	⑨(A)雑誌の表紙「顔」を素材に(B)トップページ2種	
	14	③(A)連続する5つの画面(B)4コマの世界(うちわ)		32	⑨(A)雑誌の表紙「顔」を素材に(B)トップページ3種	
	15	(A)ジオラマ(B)ゆかいな自己紹介		33	⑨(A)雑誌の表紙「顔」を素材に(B)トップページ4種	
	16	(A)ジオラマ(B)ゆかいな自己紹介		34	確認テスト・まとめ1	
	17	(A)ジオラマ(B)ゆかいな自己紹介		35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期まとめ		36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	作品	50%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて	
	学習態度	25%				
	レポート	25%		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%					
講師プロフィール	ヴィジュアルアートに関する造詣が深く、専門に関する著書がある。現在も作家活動をつづけ、実習でも地震の作例を多く示し、わかりやすい実習を行っている					

シラバス

科目名	デザイン応用ⅡB		担当者名	谷本昌彦	
学科	研究科 (芸術専門課程)		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択 <u>必修選択</u>	授業時間数	2時間(週講時数 2)
授業目的	商品開発や企画、イベント等でも必要になる知識、技術を身に付け、新たな表現を見つける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各種マテリアルの特性を理解し、生かしてモデル・試作品、素材を制作し 新しものを作り出す人材の育成				
授業概要	各自に与えられたテーマとマテリアルで表現・制作し、グループでの政策にも取り組む。 模型製作や手工芸分野のコンクールにも出品できるようにするなど社会で必要なレベルを知る。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	オリエンテーション1		19	立体物制作その1
	2	オリエンテーション2		20	立体物制作その1
	3	オリエンテーション3		21	立体物制作その1
	4	マテリアル研究その1 プラスティック		22	立体物制作その1
	5	マテリアル研究その2 プラスティック		23	立体物制作その2
	6	マテリアル研究その3 金属		24	立体物制作その2
	7	マテリアル研究その4 木材		25	立体物制作その2
	8	マテリアル研究その5 繊維		26	立体物制作その2
	9	マテリアル研究その6 土		27	立体物制作その2
	10	マテリアル研究その7 接着剤		28	グループ制作 立体 半立体
	11	テーマ別表現その1 泥		29	グループ制作 立体 半立体
	12	テーマ別表現その2 雪		30	グループ制作 立体 半立体
	13	テーマ別表現その3 鏡		31	グループ制作 立体 半立体
	14	テーマ別表現その4 水		32	グループ制作 立体 半立体
	15	テーマ別表現その5 草		33	グループ制作 立体 半立体
	16	テーマ別表現その6 樹木		34	確認テスト・まとめ1
	17	テーマ別表現その7 錆		35	確認テスト・まとめ2
	18	テーマ別表現その8 土		36	確認テスト・まとめ3
成績割合	作品	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて	
	学習態度	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	大阪芸術大学美術学科卒業、日本画を専攻し、染織作家、イラストレーター、ファッションデザイナー (株)関水金属(鉄道模型メーカー)にて出版物、パッケージのデザイン、イベントの企画・施工・実施、を行う				

シラバス

科目名	ビジネススキルⅢ		担当者名	谷本昌彦	
学科	研究科 (芸術専門課程)		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・必修選択	授業時間数	6時間(週講時数1)
授業目的	就職支援のために情報を共有し社会人としてデビューできるように準備をする				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	将来の就職試験対策として、一般教養を身に有けることをテーマに、知識の習得と、面接対策として、また社会人として恥ずかしくないようにマナーの習得も目標としている。				
授業概要	一般教養やマナーの勉強を問題集や実際の経験も交えて講義し、実際に動きなどによって体感しながら身に着ける。節目節目で全体討議を行い自身の感覚のずれを修正していく。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	オリエンテーション1		19	企業研究
	2	オリエンテーション2		20	一般教養
	3	オリエンテーション3		21	一般教養
	4	社会常識について		22	一般教養
	5	個人面談		23	一般教養
	6	個人面談		24	一般教養
	7	個人面談		25	一般教養
	8	就職説明		26	一般教養
	9	マナートレーニング		27	マナートレーニング
	10	SPI模試		28	マナートレーニング
	11	一般教養		29	マナートレーニング
	12	一般教養		30	マナートレーニング
	13	一般教養		31	マナートレーニング
	14	一般教養		32	マナートレーニング
	15	キャリアセンター講話		33	マナートレーニング
	16	マナートレーニング		34	確認テスト・まとめ1
	17	マナートレーニング		35	確認テスト・まとめ2
	18	就職説明		36	確認テスト・まとめ3
成績割合	テスト	50%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付にて
	学習態度	25%			
	レポート	25%		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	大阪芸術大学美術学科卒業、日本画を専攻し、染織作家、イラストレーター、ファッションデザイナー (株)関水金属(鉄道模型メーカー)にて出版物、パッケージのデザイン、イベントの企画・施工・実施、を行う				